

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	シーズゆう（放課後等デイサービス/児童発達支援事業 多機能型）			公表日	2026年 2月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13		法令を遵守したスペースを確保しています。また子供の情緒が不安定な状態や学習に集中したい場合など、状況に応じて個室を活用しています。	今後も十分なスペースの確保に努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	3	法令で必要とされる配置数を遵守し、ご利用人数に応じて職員を配置しています。	継続していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	1	活動毎に場面を分け、分かりやすいように提示しています。また個々に応じたスケジュール表を作成しています。	継続していきます。子ども達の活動に合わせた空間になっているが一部のドアなど重かったり危険を感じることもある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		毎日活動終了後に活動場所の清掃や消毒を行っています。	継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	2	取組みや休憩などの活動毎に場面を分け、児童が分かりやすく活動に取り組めるようにしています。	継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	3	定期的に職員会議や日々のミーティングで情報共有を図っています。	職員同士がよりよい意見交換ができるように継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	2	評価表の結果を参考にさせていただきながら、ご意見を把握しています。	今後も意見を聞きながら業務改善等に取り組んでいきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		毎回の会議や打ち合わせの中で、職員同士が意見を交換する機会を設け、業務改善につなげています。	継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	3	相談支援事業所のモニタリングを活用して現場を見てもらっています。	同じ法人内に相談支援事業所があるため、外部からの第三者評価を依頼するなどの工夫が必要です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	必要な情報の提供、様々な研修の参加を行っています。法人内研修が充実していると思います。	今後も必要な研修に積極的に参加し、職員の資質の向上を目指します。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13		支援プログラムを作成しHP上に公表しています。	支援プログラムを定期的に見直しすることでよりよい支援に繋がっていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	2	半年毎にご家族と面談を行い、状態や環境の変化の聞き取りを行った上で支援計画の見直しを実施しています。	今後も定期的な面談などで状況把握に努めていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		子どもの最善の利益を考慮した検討が実施されています。	継続していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1	日々のミーティングで職員間の共有を行いながら支援計画に沿った取組みや活動を提供しています。	今後も支援計画に基づいた活動を考え、取り組みを実施していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	3	心理士等が使用するフォーマルなアセスメントや日々の行動観察などのインフォーマルなアセスメントを取り組んでいます。	インフォーマルなアセスメントを実施した際には職員とすり合わせする方法を今後検討していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	2	放課後等デイサービスガイドラインの内容をその都度確認し、支援計画に具体的な内容と共に明示しています。	今後もガイドラインの内容に沿った支援内容を検討します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	2	職員間で意見交換しながらプログラムを決めています。	職員同士の意見交換を活発に行い、プログラムの立案に努めていきます。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	2	日々のプログラムが固定化しないように、季節を感じるようなプログラムを企画し実施しています。	継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を実施しています。	継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1	日々の活動を明確にしてミーティングの中で役割分担の確認を行うようにしています。	日々のミーティングや会議を大切に、役割分担していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	3	支援終了後に職員間の話し合いや活動日誌の記入を実施し、情報の共有に努めています。	職員同士の情報交換や共有できる時間を確保できるように今後も務めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		支援経過記録を毎回記入しています。それを元に個別支援計画見直し時や会議に役立てています。	子どもたちの成長や支援計画に基づいた記録を記入し、日々の支援に活かしてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		半年毎にご家族と面談を実施し、状態や環境の変化の聞き取りを行い、支援計画の見直しを必要に応じて行っています。	半年毎の面談を通してモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行ってまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12	1	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っています。	より具体的な支援内容を打ち出して実施していきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	2	活動の中で選択できる場面を設けています。	自己決定ができる力を伸ばせるように選択できる場面を今後も増やしていきます。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	2	必要に応じて児童発達支援管理責任者・指導員と参画しています。	今後も依頼があれば積極的に参画していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	2	保健・障害福祉、保育、教育の関係機関と連携して支援を行っています	継続していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13		学校との情報共有をその都度実施して、連絡調整を行っています。	継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	2	ご家族のご希望や必要に応じて情報共有が行えるように努めていますが、まだ不十分な状況です。	今後、十分な情報共有ができるように努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	3	必要に応じて相談支援事業所や移行先の事業所へご家族の了承を得て情報提供させていただいています。	必要に応じて情報提供ができるように努めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	2	放課後等デイサービス事業所連絡会を通じて、助言をもらっています。	研修会にも積極的に参加できるように検討します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	9	外出の活動（公園）や行事を通して地域の子ども達と共に活動していることがあります。	地域の施設との交流も検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	3	あまり参加できていませんが、どのような会議の内容になったかの報告を聞いています。	参加できる時は、地域の会議に参加します。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	帰りの送迎で親御さんに直接ご様子をお伝えするなど共通理解を持つように努めています。	継続していきます。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	1	定期的に家族学習会を開催しており、ご希望の方にはご参加いただいています。	今後も家族学習会を開催していきます。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	2	ご契約時に説明を実施しています。	見直しを行う度にその都度ご説明ができるように努めます。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	1	子どもや保護者の意思を尊重し、子どもや保護者の意向を確認する機会を設けています。	継続していきます。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13		計画を示しながら支援内容の説明を行い、同意をいただいています。	継続していきます。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	1	必要に応じて、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言や支援を実施しています。	継続していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	13		保護者会を開催しています。	今後も保護者同士の交流の機会を定期的に開催できるように企画し実行していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13		重要事項説明書に苦情の受付について記載しておりますが、発生時には管理者兼児童発達支援管理責任者が真摯に対応しています。	対応の体制を維持し、苦情があった場合は真摯に対応していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	1	毎月子ども達の様子の写真を添えたおたよりを発行しています。	HPやSNSを活用した情報発信をできるように検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		職員は入社時に秘密保持の誓約書を提出しており、ご家族に対しては契約時に個人情報の取り扱いに関して同意をいただいています。必要に応じてその都度確認を行っています。	必要に応じて説明を継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		絵や写真カード、文字表示など一人一人の児童が分かりやすい方法で伝達できるようにしています。	今後も一人一人の児童に合わせてコミュニケーションを図り、安心して過ごせる場を提供していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13		地域の方々を招待する定例の行事があるため、行事の際は積極的に取り組んでいます。	継続していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	2	策定しています。ご家族には契約時にご説明をしています。	必要に応じてマニュアルを改訂し、その都度、職員間で周知した上で保護者への説明を実施していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	4	業務継続計画（BCP）を作成中です。また、主に火災を想定した避難訓練を実施しています。	定期的に様々な災害を想定した訓練が今後必要です。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	1	服薬状況やてんかん発作等の確認を実施しています。	予防接種の状況も今後把握する必要があります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	1	食物アレルギーの有無をご契約時に確認しています。	入所時のみ確認を行っているため、定期的に聞き取りを実施します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	2	安全計画を基に安全管理を十分行った上で支援を実施しています。	安全管理に必要な研修や訓練に積極的に参加していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	2	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるように安全計画を作成しています。	今後取り組み内容を周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	2	ヒヤリハットは事業所内で共有し、再発防止に向けた方策をその都度検証しています。	継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		虐待防止に関する研修に参加し、話し合いを実施しています。	継続していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	3	やむを得ず身体拘束を行う場合について、法人として決定し、ご契約時にご説明しています。	支援計画書への記載を検討します。	